

労働安全衛生と健康管理の取り組み

CASIO now!

「メタボ撃退大作戦」
休日の歩き方を工夫して
1日2万歩の目標を達成



カシオ情報サービス
辻田 章雄

チャレンジ目標は「1日2万歩」のウォーキング。「撃退」への成果は、体重が11kg減。腹囲は97cmから81.5cmと、15.5cmも細くなりました。この間、ゆるくなったベルトを切り、「戦利品」として保管しています。

カシオの取り組みへの考え方

カシオは、労働安全衛生法をはじめとする各種法律や就業規則に基づき、「従業員の健康保持・増進」と「労働災害の防止・再発防止」の実現を図るため、すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりをグループ全体で推進しています。海外グループ会社においても、当該国の法規制を順守して、同様に対策を行っています。

労働安全衛生活動

カシオは、「安全衛生委員会」を各地区に設置し、産業医・衛生管理者・労使双方の委員により、職場環境に応じた従業員の「心と身体の健康保持・労働安全確保」に向けた施策を推進しています。

委員会活動などについても社内 Web 上で従業員に公開しており、労働安全衛生に関する啓蒙活動にも取り組んでいます。

従業員の健康増進

カシオは、従業員の健康管理にとどまらず健康増進を推進することで各従業員のモチベーションを向上させ生産性アップを目指しています。

全従業員を対象とした定期健康診断では、法定を上回る検診項目基準を設定しています。従業員の健康保持、習慣病予防のための項目を追加して推進しています。

また、健康の保持・増進と生活習慣病予防を目的に「ウォーキングキャンペーン」を9月から11月にかけて各地で実施し、従業員の家族も含めて健康増進の機会を提供しています。

健康保険組合の協力のもと各種保健指導の充実も図っており、平成20年度の特定保健指導に先駆け、カシオ計算機の2拠点において数百名の従業員を対象に「メタボ撃退大作戦」を実施しています。

社員食堂においては、運営を委託している各社様のご協力により、カロリー・栄養バランスを考慮した「ヘルシーメニュー」を随時提供しています。また同時に、健康応援フェア（ウェルネスフェア）も開催しています。

各事業所の従業員・医療スタッフ・食堂運営各社様のメンバーが集まる「食堂会議」においては、各地区の状況や

取り組みを報告・共有しています。これにより従業員の健康を配慮した食事の提供を実現します。

メンタルヘルスケアについて

従業員のメンタル面の健康をサポートするため、メンタルヘルスに関する研修体系の整備などを進めてきました。まず、管理職を対象とした「マネジャー向け研修」「e-ラーニング研修」を開催し、「心の健康」への意識向上を図っています。診療所や外部相談窓口「心と身体のホットライン」では相談を受け付け、社内カウンセリングにも対応しています。

労働災害の防止

カシオは、「労働災害ゼロ」の実現に向けて、各職場で無事故・無災害を目指した安全活動を展開しています。

各事業所・グループ会社においても消防訓練・防災訓練や普通救急救命講習などを実施し、緊急の事態に備えています。AED（自動体外式助細動器）などの配備にも積極的に取り組んでいます。

カシオ計算機の労働災害の状況

	労働災害度率※1 (製造業の平均数値)	労働災害強度率※2 (製造業の平均数値)
2005年度	0.60 (1.01)	0.002 (0.090)
2006年度	1.11 (1.02)	0.027 (0.110)
2007年度	0.33 (1.09)	0.004 (0.100)

※1 100万延実労働時間あたりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。(労働災害による死傷者数 ÷ 延実労働時間数) × 1,000,000

※2 1,000延実労働時間あたりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。(延労働損失日数 ÷ 延実労働時間数 [労働者数分]) × 1,000

※ここでいう労働災害とは、労働者が業務遂行中に業務に起因して受けた負傷または疾病（休業1日以上）および死亡をいう。